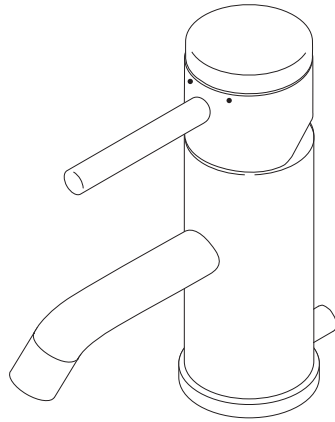


# FCS125K シングルレバー混合栓 取付・設置説明書

このたびは、シングルレバー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

取付・設置前に必ずお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

この取付・設置説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。



## 取付・設置の前に…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取付・設置してください。
- 取付け後の点検のために必ず止水栓を設けてください。

## 取付・設置時について…

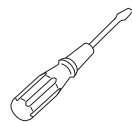
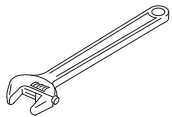
- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取付・設置してください。

## 製品同梱明細について…

- 別紙「取扱説明書」の製品同梱明細をご参照のうえ、部材をご確認ください。

## 取付・設置に必要な工具

- モンキーレンチ
- 立水栓取付工具
- マイナスドライバー



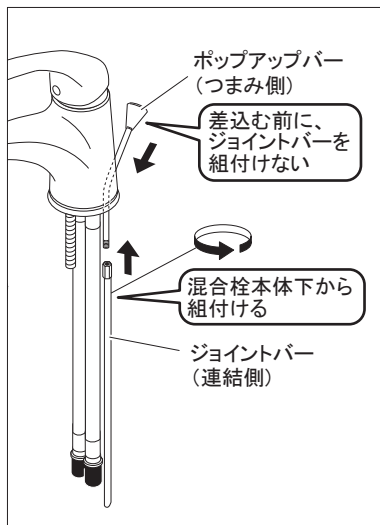
## 取付けの前に

数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を開めて取付作業を行ってください。

**必ず実行** ステンレスカウンターで補強板がない場合は固めの補強板(合板など)を取付けてください。

## 取付方法

### 1. 混合栓本体を取付けます。

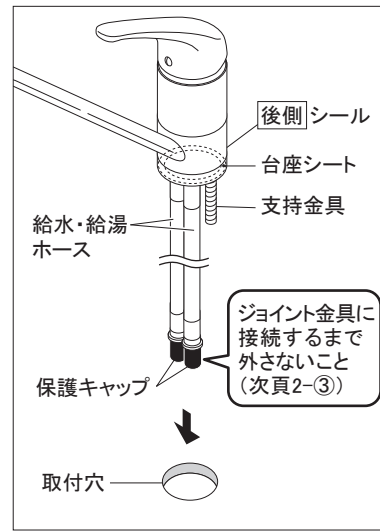


①ポップアップバー(引棒)付きの場合は、先にポップアップバー(つまみ側)を混合栓本体に差込みます。次に、ジョイントバー(連結側)を混合栓本体下から組付けます。  
\* 混合栓を取付台に設置する前に作業してください。

**禁止** 混合栓本体に、ポップアップバーとジョイントバーを組付けた状態で差込まないでください。故障・作動不良の原因になります。

## 取付方法(つづき)

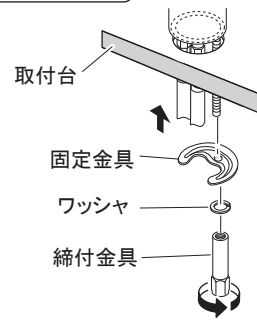
### 1. 混合栓本体を取付けます。(つづき)



②混合栓本体を設置する場所の取付穴径を確認し、穴周囲の汚れを取ります。  
\* 給水・給湯ホースの先端の保護キャップは、取付けたまま作業をしてください。

③台座シートが付いた状態で、混合栓本体を取付台に差込みます。

#### 固定金具後側の場合



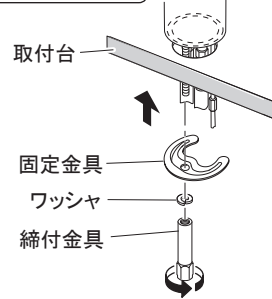
④支持金具に締付金具パーツを左図を参考に通します。

**必ず実行** 締付金具パーツは組付ける順序を間違えないよう取付けてください。

⑤締付金具を仮締めし、取付位置を調整してから、「立水栓取付工具」などでしっかり締付け混合栓本体を確実に固定します。

- \* 後側シールが貼付けられている場合は、後側シールを真後ろに合わせます。
- \* 水栓取付け位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度にあわせ位置決めをしてください。
- \* 機種によっては、ワッシャのないタイプもあります。

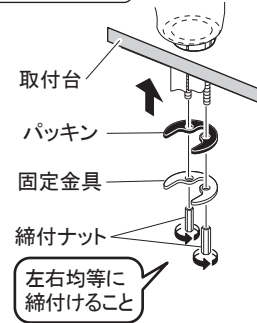
#### 固定金具前側の場合



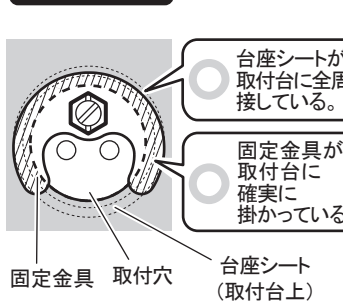
- 締付金具を締付ける際は、適切な工具を使用してください。締付ける際に、工具が給水・給湯ホースを損傷し、水もれの原因になる場合があります。
- 締付金具は、締付け過ぎないでください。固定金具が変形するまで締付けると固定力がなくなります。
- 混合栓本体を固定する際に、レバーハンドル部をもって、締付けを行わないでください。カートリッジに無理な力がかかり破損する恐れがあります。
- 水栓本体を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力がかかり器具の破損やゆるみの原因になります。

**必ず実行**

#### 支持金具2軸の場合



#### 正しい取付状態



⑥左図を参照に、取付状態を確認します。  
\* 台座シートが取付台に全周接しているか。  
\* 固定金具が確実に取付台に掛かるように取付いているか。

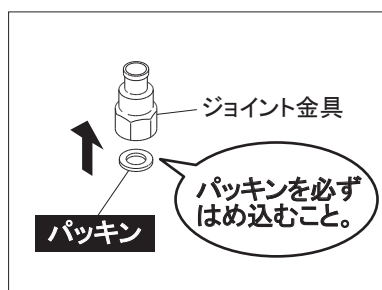
**注意** 混合栓本体が正しく固定されないと、グラつき、取付台下へ漏水、部品の損傷の原因になりますので注意してください。  
●台座シートが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入してグラつき、漏水の原因になりますので注意してください。

#### 誤った取付状態

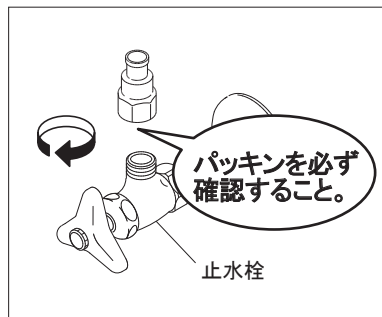


# 取付方法(つづき)

## 2.給水・給湯ホースを取付けます。

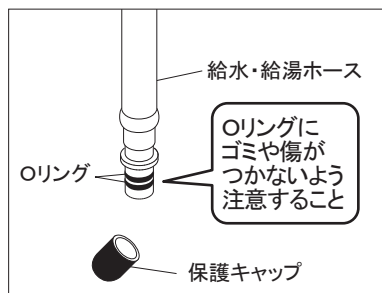


①ジョイント金具にパッキンをはめ込みます。

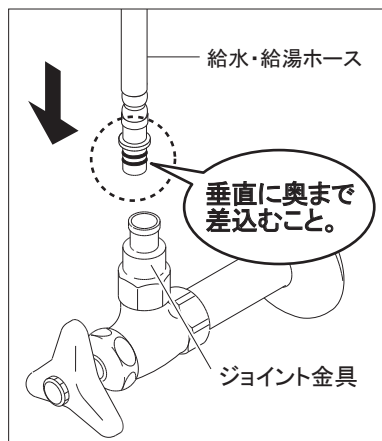


②ジョイント金具にパッキンが付いているのを確認してから、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

**注意** パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れに注意してください。



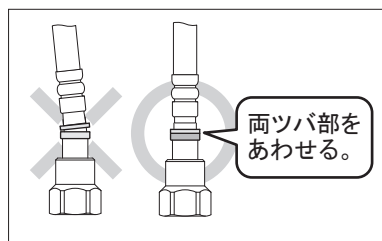
③給水・給湯ホースの先端の保護キャップを外します。



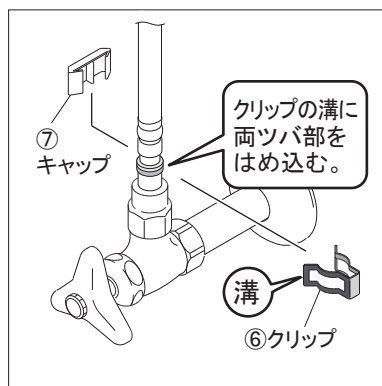
④給水・給湯ホースをジョイント金具へ垂直に奥までしっかりと差込みます。

**注意** ホースの(湯)水シールを確認して逆配管にならないように設置してください。

**必ず実行** 給水・給湯ホースをジョイント金具に差込むときは、リングに傷を付けないよう垂直にゆっくり差込んでください。



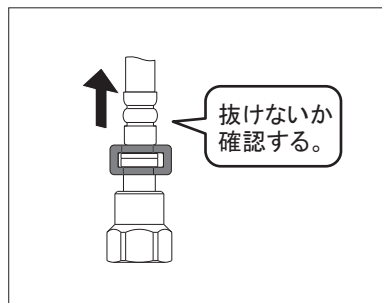
⑤給水・給湯ホースがジョイント金具に正しく差込まれているか確認をします。



⑥クリップの溝に、両ツバ部(給水・給湯ホース側とジョイント金具側)が収まるようにクリップをはめ込みます。

⑦キャップをクリップに取付けます。

**必ず実行** クリップで手を切る恐れがありますので、固定後は必ずキャップを取付けた状態にしてください。



⑧給水・給湯ホースを上へ引き、確実に接続されているか確認をします。

**注意** 確実に取付けないと漏水する恐れがありますので注意してください。

## 2.給水・給湯ホースを取付けます。(つづき)

<b>禁止</b>	給水・給湯パイプ、給水・給湯ホースは根元から急激に曲げないでください。パイプ、ホースにキズが付き、強度が失われたり、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。また、漏水を起こす恐れがあります。	
<b>必ず実行</b>	クリップが正しい位置に取付けられていないと通水時に給水・給湯ホースが抜け、漏水を起こす恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているか確認をしてください。	
<b>注意</b>	給水・給湯パイプ、給水・給湯ホースの曲げ半径は、60ミリ以上確保してください。急激に曲げますと、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。	
<b>注意</b>	給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。	

## 3. 連結金具を接続します。(ポップアップバー付きタイプの場合)

ポップアップ排水金具の排水栓を操作するために、排水金具のキック棒と水栓のポップアップバーを接続します。

排水金具のキック棒を下げた状態で、連結金具の固定ビスAを「マイナスドライバー」で締付け、ポップアップバーに固定します。

- \*円滑に作動しない場合は連結金具の固定位置で微調整をしてください。
- \*調整後は、固定ビスA・Bをしっかり締付けてください。

## 取付後の点検

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の取付・設置をやり直してください。
- ②ハンドルを中央位置で上げ、湯水の混合具合を確認してください。低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、別紙取扱説明書の「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。

製品についてのお問い合わせは



〒160-0023  
東京都新宿区西新宿6-6-3  
新宿国際ビル新館

TEL 03-5909-0503~4  
FAX 03-5909-0518

http://www.le-bain.com